

Nexus 7000 F1 モジュールから M1 モジュールへの vPC ピア リンク移行の設定例

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[設定手順](#)

[移行手順](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[よく寄せられる質問 \(FAQ\)](#)

[Q. 現在の F1 メンバーをバンドルに残したまま M カードのメンバーを新メンバーとして vPC ピア リンクに追加し、追加後に旧メンバーを削除することは可能ですか。](#)

概要

このドキュメントでは、仮想 PortChannel (vPC) ピア リンクを Nexus 7000 F1 モジュールから M1 モジュールに移行するために必要なステップを定義します。このシナリオは、拡張性や他の理由から F1 モジュールをアップグレードするときに起きる可能性があります。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- Nexus オペレーティング システムの CLI
- vPC ルール

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- リリース 6.1 以降の Nexus 7000

- M1 および F1 シリーズ ライン カード

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

設定

ネットワーク図

このテストでは、互いに通信する 2 台のホスト間のデータ パスを青い線でマッピングしています。

設定手順

モジュール 3 とモジュール 4 は N7K-F132XP-15 ライン カードです。これは vPC の観点からみた現在の設定です。

```
N7K1# show run vpc
version 6.1(2)feature vpc
vpc domain 10
  role priority 100
  peer-keepalive destination 10.201.254.254 source 10.201.254.253 vrf VPC
  peer-gateway
  auto-recovery
```

```
interface port-channel1
  vpc peer-link
```

```
interface port-channel20
  vpc 20
```

```
interface port-channel30
  vpc 30
```

```
N7K2# show run vpc
version 6.1(2)
feature vpc
vpc domain 10
  role priority 200
  peer-keepalive destination 10.201.254.253 source 10.201.254.254 vrf VPC
  peer-gateway
  auto-recovery
```

```
interface port-channel1
  vpc peer-link
```

```
interface port-channel20
  vpc 20
```

```
interface port-channel30
 vpc 30
```

```
interface port-channel50
 vpc 50
```

移行手順

1. vPC ピア リンク ポートチャンネル 1 をシャットダウンします。

```
N7K2# show run vpc
version 6.1(2)
feature vpc
vpc domain 10
  role priority 200
  peer-keepalive destination 10.201.254.253 source 10.201.254.254 vrf VPC
  peer-gateway
  auto-recovery

interface port-channel1
 vpc peer-link

interface port-channel20
 vpc 20

interface port-channel30
 vpc 30

interface port-channel50
 vpc 50
```

この操作はセカンダリ側の vPC リンクを停止します。vPC リンクはプライマリ側で継続します。

2. ポート e3/1 および e4/1 をシャットダウンし、両方の Nexus モジュールからチャンネルグループ構成を削除します。

```
Int e3/1,e4/1
Shut
No channel-group 1
```

```
N7K1# show port-c sum
Flags:  D - Down          P - Up in port-channel (members)
        I - Individual    H - Hot-standby (LACP only)
        s - Suspended     r - Module-removed
        S - Switched      R - Routed
        U - Up (port-channel)
        M - Not in use. Min-links not met
```

```
-----
Group Port-      Type      Protocol  Member Ports
Channel
-----
1      Po1(SD)    Eth       NONE      --
20     Po20(SU)   Eth       LACP      Eth3/4(P)
30     Po30(SU)   Eth       LACP      Eth4/4(P)
50     Po50(SD)   Eth       LACP      Eth2/12(D)
100    Po100(RU)  Eth       LACP      Eth2/48(P)
```

3. M1 ポートを使用し、vPC ポート チャンネルにバンドルします。モジュール 7 (N7K-M108X2-12L ライン カード) のポートを使用します。e3/1 が e4/1 と同じ構成になるように、e7/7 の両側を設定します。この例では、単一のポートを使用しています。実際の状況

では、複数のポートがあります。それでも同じ手順が適用されます。

```
interface Ethernet7/7
  switchport
  switchport mode trunk
  channel-group 1 mode active
  no shutdown
```

N7K1# show port-c sum

```
Flags:  D - Down          P - Up in port-channel (members)
        I - Individual    H - Hot-standby (LACP only)
        s - Suspended     r - Module-removed
        S - Switched      R - Routed
        U - Up (port-channel)
        M - Not in use. Min-links not met
```

```
-----
Group Port-      Type      Protocol  Member Ports
Channel
```

```
-----
1      Po1(SD)      Eth       LACP      Eth7/7(D)
20     Po20(SU)    Eth       LACP      Eth3/4(P)
30     Po30(SU)    Eth       LACP      Eth4/4(P)
50     Po50(SD)    Eth       LACP      Eth2/12(D)
100    Po100(RU)    Eth       LACP      Eth2/48(P)
```

4. 両側のポート チャネル 1 を起動します。

```
interface Ethernet7/7
  switchport
  switchport mode trunk
  channel-group 1 mode active
  no shutdown
```

N7K1# show port-c sum

```
Flags:  D - Down          P - Up in port-channel (members)
        I - Individual    H - Hot-standby (LACP only)
        s - Suspended     r - Module-removed
        S - Switched      R - Routed
        U - Up (port-channel)
        M - Not in use. Min-links not met
```

```
-----
Group Port-      Type      Protocol  Member Ports
Channel
```

```
-----
1      Po1(SD)      Eth       LACP      Eth7/7(D)
20     Po20(SU)    Eth       LACP      Eth3/4(P)
30     Po30(SU)    Eth       LACP      Eth4/4(P)
50     Po50(SD)    Eth       LACP      Eth2/12(D)
100    Po100(RU)    Eth       LACP      Eth2/48(P)
```

これにより、セカンダリ側の vPC リンクが起動します。この状態で、ピア リンクは M1 ラインカードになります。

このテストでは、プライマリ パスへのフェールオーバーにより、セカンダリ パスを使用するトラフィックに小規模な中断があります。この種の変更を加えるときは、予期しない事態を避けるために変更ウィンドウの使用を推奨します。

確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

よく寄せられる質問 (FAQ)

Q. 現在の F1 メンバーをバンドルに残したまま M カードのメンバーを新メンバーとして vPC ピア リンクに追加し、追加後に旧メンバーを削除することは可能ですか。

A. M1 と F1 など、異なるカード タイプのポートでピア リンクは構成できません。